

第49週の発生動向 (2012/12/3~2012/12/9)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市、八戸保健所管内から報告があり、迅速診断キットによる型別では、A型6人、B型1人です。
2. 感染性胃腸炎については、県内全域で患者報告数が前週に比べて増加しており、むつ保健所管内では第48週から**警報**が継続しています。

II 第49週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	1	0.1			6	0.4							7	0.1	7			1	0.1
(74) RSウイルス感染症	9	1.1	10	1.1	2	0.2	9	1.8	5	0.8	1	0.3	36	0.9	-42			9	1.1
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	2	0.2							2	0.5	5	0.1	-3			1	0.1
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.5	12	1.3	25	2.8	3	0.6	14	2.3	5	1.3	71	1.7	25			12	1.5
(77) 感染性胃腸炎	138	17.3	58	6.4	35	3.9	21	4.2	87	14.5	110	27.5	449	11.0	114			138	17.3
(78) 水痘	29	3.6	11	1.2	15	1.7			5	0.8			60	1.5	-15			29	3.6
(79) 手足口病					6	0.7					2	0.5	8	0.2	-4				
(80) 伝染性紅斑															0				
(81) 突発性発しん	5	0.6	3	0.3	1	0.1	2	0.4	1	0.2	1	0.3	13	0.3	-3			5	0.6
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	0				
(83) ヘルパンギーナ			2	0.2									2	0.0	0				
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.4	14	1.6	1	0.1			2	0.3	1	0.3	21	0.5	3			3	0.4
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎							2	2.0					2	0.2	-5				
基幹 (92) クラミジア肺炎															-1				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.0	7	7.0	2	2.0			15	15.0	27	4.5	-2				
(96) 無菌性髄膜炎			1	0.3									1	0.1	1				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市1人、八戸1人、上十三1人 (2012年計:370人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): むつ1人 (2012年計:68人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患): 上十三1人 (2012年計:15人)
- (71) バンコマイシン耐性腸球菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2012年計:2人)

病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

感染症の窓

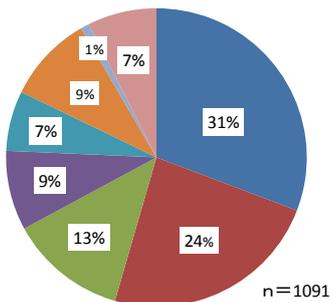


図 県内患者の年齢群別割合 (2012年第39~48週累計)

感染性胃腸炎

(五類定点把握疾患)

感染性胃腸炎は、例年冬季に増加し12月にピークとなりますが、2012年の全国の患者報告数は第42週以降増加が続き、定点あたり患者報告数は過去10年の同時期と比較して2番目に多くなっています。県内でも増加傾向が続き、むつ保健所管内では警報が発令されています。

発生動向調査では、県内42の小児科定点から患者報告があり、第39~48週の患者の年齢群別割合は、0~1歳が31%、2~3歳が24%、4~5歳が13%で、5歳以下が全体の7割を占めています(図)。

感染性胃腸炎の原因は多種多様ですが、患者報告数が増加する冬季は大半がウイルス感染であり、特にノロウイルスによるものが多くなっています。ノロウイルスでは、従来国内で検出されていた遺伝子型(GII/4)と抗原性が異なると推測される新たな変異株(GII/4変異株)が、2012年1月に採取された検体から検出され、10月以降検出地域が増加しています。(参考:IDWR2012年第47週)

ノロウイルス感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と、患者の吐物や便の適切な処置が重要です。処置時は、マスク・手袋を着用し、汚物はビニール袋に密閉して廃棄します。消毒には、85℃以上1分間の熱処理、200ppmの塩素液消毒が有効です。家庭用漂白剤を、500mLのペットボトルにキャップ1/2杯(約2.5mL)入れて水を入れると200~300ppm塩素液になります。

青森県のホームページでは、発生状況や対処法の詳しい情報を掲載しています。(http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/nv_ige.html)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（掲載内容は最新情報です単位：人 2012年第31週～第48週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
31	H24.7.30 ~ H24.8.5	ジアルジア症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	腸管出血性大腸菌感染症1人				風しん1人	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	腸管出血性大腸菌感染症2人 後天性免疫不全症候群1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症5人		
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			アメーバ赤痢1人
38	H24.9.17 ~ H24.9.23		風しん1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
39	H24.9.24 ~ H24.9.30			腸管出血性大腸菌感染症1人 ウイルス性肝炎1人			
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
41	H24.10.8 ~ H24.10.14	腸管出血性大腸菌感染症21人 デング熱1人 レジオネラ症1人	梅毒1人	レジオネラ症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	腸管出血性大腸菌感染症6人					
43	H24.10.22 ~ H24.10.28		梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
44	H24.10.29 ~ H24.11.4						
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	つつが虫病1人					クロイツフェルト・ヤコブ病1人
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	つつが虫病1人					
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人	
48	H24.11.26 ~ H24.12.2						

VI 結核（二類全数把握疾患）

単位：人

2012年第31週～第48週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
31	H24.7.30 ~ H24.8.5			2	1		
32	H24.8.6 ~ H24.8.12	2		3	3	1	
33	H24.8.13 ~ H24.8.19	1	2	3			
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	4	2	1	1	1	
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	1	3	1		1	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9	2	2	2	1	1	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16	5	3	1	1	2	
38	H24.9.17 ~ H24.9.23	5		3	1		
39	H24.9.24 ~ H24.9.30	3	1			1	
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	2	1	5	1	1	
41	H24.10.8 ~ H24.10.14			2	1		
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	2	3				
43	H24.10.22 ~ H24.10.28	1					
44	H24.10.29 ~ H24.11.4	1	1	1	1	1	
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	2	2			1	
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	5	3	1	1		
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	2	1	1			
48	H24.11.26 ~ H24.12.2		2	1			

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

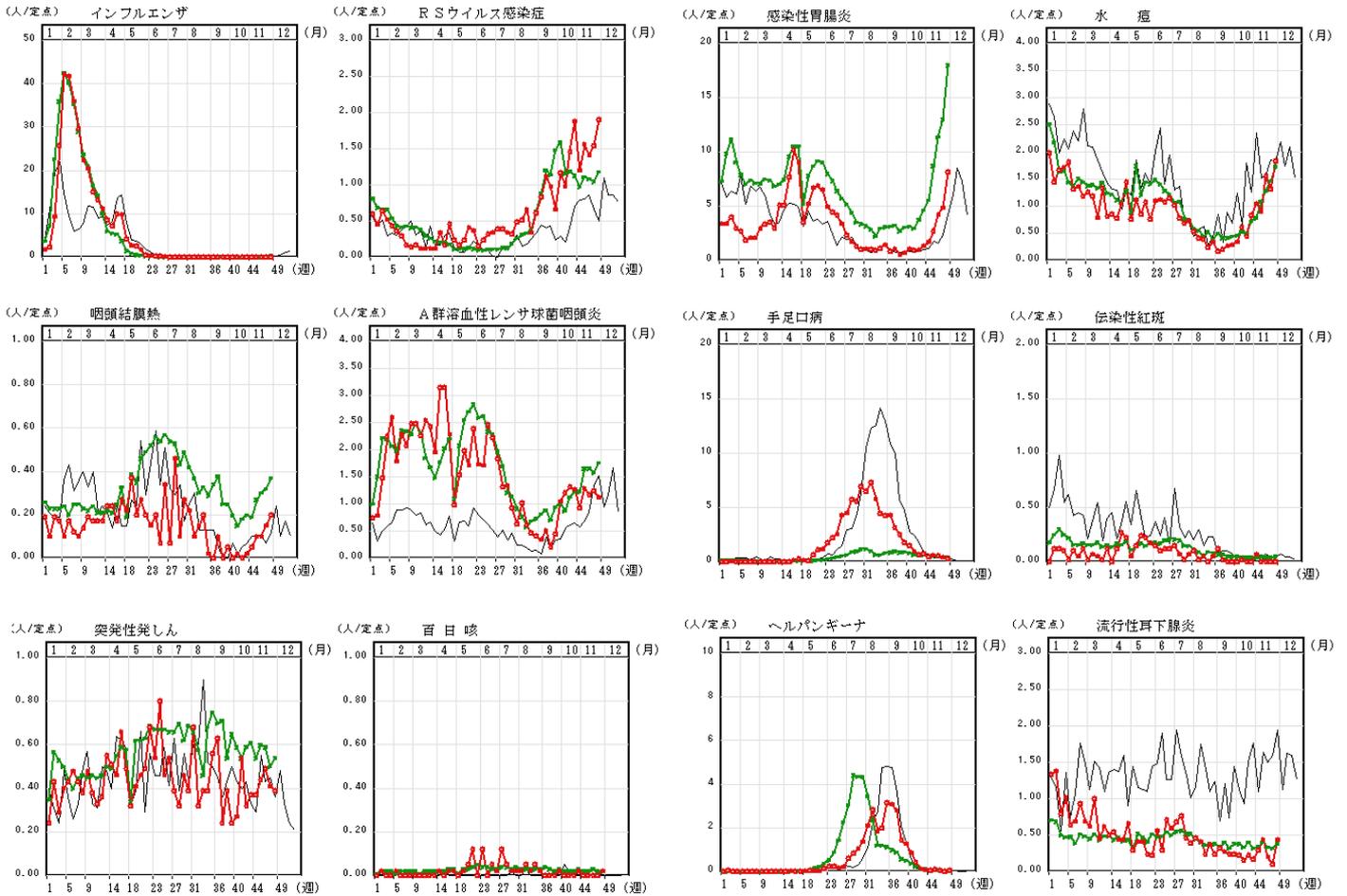
2012年12月10日 19時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジノイデス症	テンググニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリスス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
全国	26742	3	202	3666	32	20	107	156	14	6	2	9	332	211	164	2	3	72	11	820
青森県	370	0	0	68	0	0	1	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0	0	5
	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎細菌性髄膜炎	先天性風疹症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
全国	29	847	206	327	6	164	229	1294	67	12	3	808	106	86	2154	285				
青森県	0	3	1	3	0	1	2	4	1	0	0	6	1	2	2	0				

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

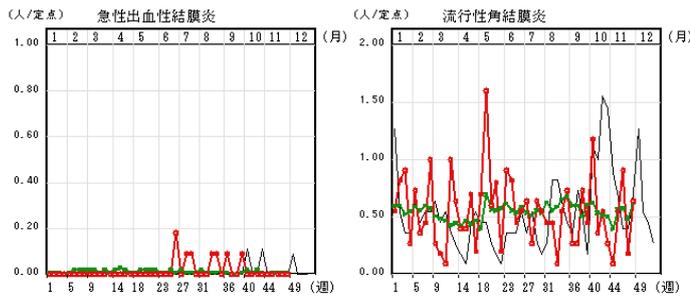
2012年第48週

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、—は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2012年第48週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2012年第48週

